

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-100	高等学校	地理歴史科	世界史探究	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
46 帝国	世探 046-901	新詳世界史探究		

1. 編修の趣旨及び留意点

激変する現代世界の成り立ちを理解し、「歴史的な見方・考え方」を働かせて地球世界の課題を追究する活動を通じて、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な資質・能力を育成できる教科書を目指して編修した。

2. 編修の基本方針

◇教育基本法第2条に示される教育の目標を達成するために、下記の基本方針に基づいて編修した。

(1)幅広い知識が習得でき、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う教科書

- ・諸地域の多様性と現代世界の成り立ちについて歴史を通じて理解することができるよう、2部では諸地域の歴史的特質の形成を、3部では諸地域の交流やつながりの歴史を、4部では世界の一体化と相互依存のさらなる深化の歴史を、5部では地球世界の課題と解決に向けた取り組みを取り上げた。
- ・さまざまな立場に焦点を当て多面的・多角的に歴史的事象を考察することができるよう、2～5部にコラム「視点を変えて」を設置した。
- ・諸地域の相互関係や現在に至る世界の一体化の過程が大観できるよう、特設「結びつく世界」を設置した。

(2)主体的に社会の形成に参画する態度を養い、個人の資質・能力を高める教科書

- ・「知識及び技能」の習得、「思考力・判断力・表現力」、「学びに向かう力・人間性」を育成できるよう、部・章・節ごとに学習を見通す「部扉」「章の問い」「節の課題」、学習を振り返る「節の振り返り」「章の振り返り」「(部の)まとめと展望」を設置した。
- ・歴史的な見方・考え方を働かせて考える「問い」(年代・推移・比較・つながり・現代の五つのアイコンで分類)を設置した。
- ・「思考力・判断力・表現力」を育成できるよう、写真などに読解の視点を示した「読み解き」を設置した。
- ・複数の資料を読み解いたり、課題を考察したりすることで歴史的概念についての理解を深める特設「探究TRY」を設置した。

3. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
1部 世界史へのまなざし 1章 地球環境からみる人類の歴史	◇人類史を地球史の一部として位置づけ、過去の気候変動と人類の歴史の関係について丁寧に解説することで、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養えるよう配慮した(第4号)。	p.6-9
2章 日常生活からみる世界の歴史	◇近代と前近代の家族のあり方を丁寧に解説することで、男女の平等を重んじ、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養えるよう配慮した(第3号)。	p.10-11
2部 諸地域の歴史的特質の形成 1章 世界各地の古代文明 2章 東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質	◇諸地域の歴史的特質を丁寧に解説することで、幅広い知識と教養を身につけられるよう配慮した(第1号)。	p.16-97

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-100	高等学校	地理歴史科	世界史探究	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
46 帝国	世探 046-901	新詳世界史探究		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

◇社会構造の変化に着目して現代世界の成り立ちを理解でき、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な資質・能力を育成できる教科書となるよう以下の点に配慮した。

(1) 社会構造の変化に着目して現代世界の成り立ちを理解できる教科書

- ・本文記述は、各時代において社会構造とその変化を丁寧に解説し、地域及び世界の歴史の大きな枠組みや展開をとらえられるようにした。一方、詳細な歴史的事象は側注で解説した。
- ・コラム「文化からみる当時の社会」を設け、絵画や史料など各種資料を読み解くことで、当時の社会の様相や、社会と文化が相互に与えた影響、当時の文化が現在に与えた影響を理解できるようにした。また、文化史構造図を適宜設け、文化が生まれた社会的背景や文化の大きな流れをとらえられるようにした。
- ・特設「結びつく世界」を設け、諸地域の相互依存関係や、気候変動などに伴って同時代的に起こる構造的な変化、現在に至る世界の一体化の過程を理解できるようにした。
- ・特にアジア史の本文記述や日本と関連する事象を扱うページのコラムでは、日本と世界の動きが相互に与えた影響を解説し、日本と世界の結びつきをとらえられるようにした。

(2) 歴史的な見方・考え方を働かせることで、思考力・判断力・表現力を育成できる教科書

- ・2～4部の冒頭には導入として「複数の資料を読み解いて問いを表現しよう」のコーナーを設け、これから学習する内容に対して、複数の資料を活用して生徒自身の問いを表現する活動を充実させた。
- ・各章の冒頭には「章の問い」、各節の冒頭には「節の課題」を設け、どのような点に着目して学習を進めていけばよいかを示した。
- ・本文ページの側注部分には歴史的な見方・考え方を意識した「問い」(年代・推移・比較・つながり・現代の五つのアイコンで分類)、各節末には「節の振り返り」を設け、生徒自身の考察を表現する活動を充実させた。
- ・各章末には、「章の振り返り」を設け、章の学習のまとめとして歴史的な見方・考え方を働かせて生徒自身の考察を表現する活動を充実させた。
- ・2～4部の末尾には「まとめと展望」のコーナーを設け、部で積み重ねてきた学習を踏まえて、部の冒頭で設定した生徒自身が考えた問いをもとに探究する活動を充実させた。
- ・QRコンテンツとして、「見通し・振り返りシート」「探究 TRY ワークシート」「思考ツール・白地図」を用意し、思考力・判断力・表現力を育成できるようにした。
- ・特設「探究 TRY」を設け、これまで学習した内容を踏まえて、複数の資料を読み解き課題を考察することで歴史的概念についての理解をより深めながら、思考力・判断力・表現力を育成できる活動を充実させた。
- ・絵画や史料を読み解く視点を示した「読み解き」を随所に設け、資料の比較や関連づけを通して資料読解力を高めるとともに、思考力・判断力・表現力を育成できるようにした。
- ・コラム「視点を変えて」を2～5部に設け、歴史的事象に対するさまざまな見方を示すことで、多面的・多角的に考察する力を育成できるようにした。

(3) 歴史の流れがわかりやすく、中学校や歴史総合との学習の接続を意識した教科書

- ・本文は因果関係を丁寧に解説し、歴史の大きな流れをわかりやすく記述し、補足的な事項や詳細な事象

は側注で解説した。また、小見出しごとに学習の要点をまとめた要約文を設置した。

- ・関連する本文記述の近くに、用語を解説するコラム「Key Word」を設置し、重要な歴史的概念についての理解を深められるようにした。また、QRコンテンツ「用語解説」では、学習上重要な用語についての詳しい解説を掲載した。
- ・本文ページの下部には、中学校での世界史に関連する既習事項を示す「中学校との関連」（1～3部）、「歴史総合」の学習内容との関連を示す「歴史総合との関連」（1、4～5部）を設け、これまでに学習してきた事項・内容を踏まえて、世界史探究の学習に取り組めるようにした。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
1部 世界史へのまなざし			
1章 地球環境からみる人類の歴史	A (1)	p.6-9	1
2章 日常生活からみる世界の歴史	A (2)	p.10-13	1
2部 諸地域の歴史的特質の形成			
複数の資料を読み解いて問いを表現しよう	B (1)	p.14-15	1
1章 世界各地の古代文明	B (2)	p.16-30	6
2章 東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質	B (3)	p.31-55	6
3章 南アジアと東南アジアの歴史的特質		p.56-61	2
4章 西アジアと地中海周辺の歴史的特質		p.62-82	4
5章 キリスト教社会とイスラーム社会の成立 まとめと展望		p.83-97 p.98-99	4
3部 諸地域の交流・再編			
複数の資料を読み解いて問いを表現しよう	C (1)	p.100-101	1
1章 ユーラシア大交流圏の成立	C (2)	p.102-140	8
2章 アジア諸地域の成熟とヨーロッパの進出	C (2)、(3)	p.141-172	8
3章 主権国家体制の成立と交易の拡大 まとめと展望	C (3)	p.173-201 p.202-203	8
4部 諸地域の結合・変容			
複数の資料を読み解いて問いを表現しよう	D (1)	p.204-205	1
1章 環大西洋革命～工業化と国民国家の生成	D (2)	p.206-218	3
2章 イギリスの覇権と欧米の国民国家建設		p.219-237	5
3章 世界の一体化の進展とアジアの変容		p.238-255	5
4章 世界の一体化の完成とその影響	D (3)	p.256-279	8
5章 世界大戦の時代	D (3)、(4)	p.280-314	10
6章 戦後の国際秩序と冷戦 まとめと展望	D (4)	p.315-321 p.322-323	3
5部 地球世界の課題			
1章 冷戦の展開と平和の模索	E (1)	p.325-341	4
2章 グローバル化する国際経済とその課題	E (2)	p.342-356	4
3章 情報と科学技術によって結びつく世界	E (3)	p.357-363	2
4章 地球世界の課題の探究	E (4)	p.364-367	10
計 105 時間			